事前評価チェックシート

計画の名称： 立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
1　関連する上位計画等との整合性が図られている	○
I.　目標の妥当性	
2　地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○
II.　計画の効果・効率性	
1　整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○
II.　計画の効果・効率性	
2　定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○
II.　計画の効果・効率性	
3　目標と事業内容の整合性が確保されているか	○
II.　計画の効果・効率性	
4　中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○
II.　計画の効果・効率性	
5　十分な事業効果が得られる計画となっているか	○
III.　計画の実現可能性	
1　計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○
III.　計画の実現可能性	
2　地元の機運が醸成されているか	○

案件番号：0000348229

社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

平成30年02月14日

計画の名称	立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成３０年度　～　令和０４年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	立山町,富山県		
計画の目標	通学路を中心に、主に歩行者や自転車の安全性の向上に繋がる道路整備をすることで、安全で安心なくらしを支えるまちを形成する。 継続的に通学路の安全を確保するため、立山町通学路交通安全プログラムに基づき安全対策の改善・充実を行う。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,620	A	2,587	B	0	C	0	D	33	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		0	2	3
1	・交通事故発生件数を、平成30年度から平成34年度までに約3%減少する。			
	各年の立山町の交通事故発生件数から減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（H30交通事故発生件数ー評価時点の交通事故発生件数）／（H30交通事故発生件数）	0%	1%	3%
2	・通学路における合同点検の要対策箇所（交通安全プログラム）の対策率を約30%（H30）から100%へ増加（上昇）させる。			
	各年の立山町の要対策箇所対策数から対策率を算出する。 （要対策箇所対策率）＝（評価時点の対策済み箇所数）／（H30要対策箇所数）	20%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	ー	国土強靱化を含む	ー	定住自立圏を含む	ー	連携中枢都市圏を含む	ー	流域水循環計画を含む	ー	地域再生計画を含む	ー

案件番号：　0000348229

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）日中田添線外　沢端外	路側帯カラー舗装・歩道整備 2.36km	立山町	■	■	■	■	■	990		―
	A01-002	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）坂井沢白岩線　坂井沢・上中・石坂	歩道整備　1.73km	立山町	■	■	■	■	■	400		―
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）岩峅寺宮路線外　宮路外	路肩拡幅　0.36km	立山町	■	■	■	■	■	142		―
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）新瀬戸下田線　上末外	路肩拡幅　0.27km	立山町	■	■	■	■		78		―
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）二ツ塚辻線　若宮・辻	側溝改修　1.70km	立山町	■	■	■	■	■	97		―
	A01-006	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（2）上前沢線外　前沢外	路側帯カラー舗装・側溝改修 7.66km	立山町	■	■	■	■	■	225		―

案件番号： 0000348229

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）泊東大森線　東大森	側溝改修　0.13km	立山町	■	■	■	■	■	40		－
	A01-008	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）坂井沢大清水線　榎	路肩拡幅　0.20km	立山町	■	■	■	■	■	50		－
	A01-009	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）大清水榎線外　向新庄外	路肩拡幅　0.34km	立山町	■	■	■	■	■	90		－
	A01-010	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）末三賀道源寺線　末三賀	路肩拡幅　0.18km	立山町	■	■	■	■	■	60		－
	A01-011	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）大清水高原八ツ屋線　大清水外	路肩拡幅　0.18km	立山町	■	■	■	■	■	104		－
	A01-012	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）泉沢端線外　寺田	路肩拡幅　0.16km	立山町	■	■	■	■	■	61		－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-013	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）鉾ノ木支線外	路側帯カラー舗装・路肩拡幅 2.5km	立山町	■	■	■			96		―
	A01-014	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）菰原半屋線外　前沢外	安全対策　1.1km	立山町		■	■			43		―
	A01-015	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）前沢榎線　大窪外	道路拡幅・側溝改修　0.32km	立山町				■	■	111		―
											小計						2,587		
											合計						2,587		

案件番号： 0000348229

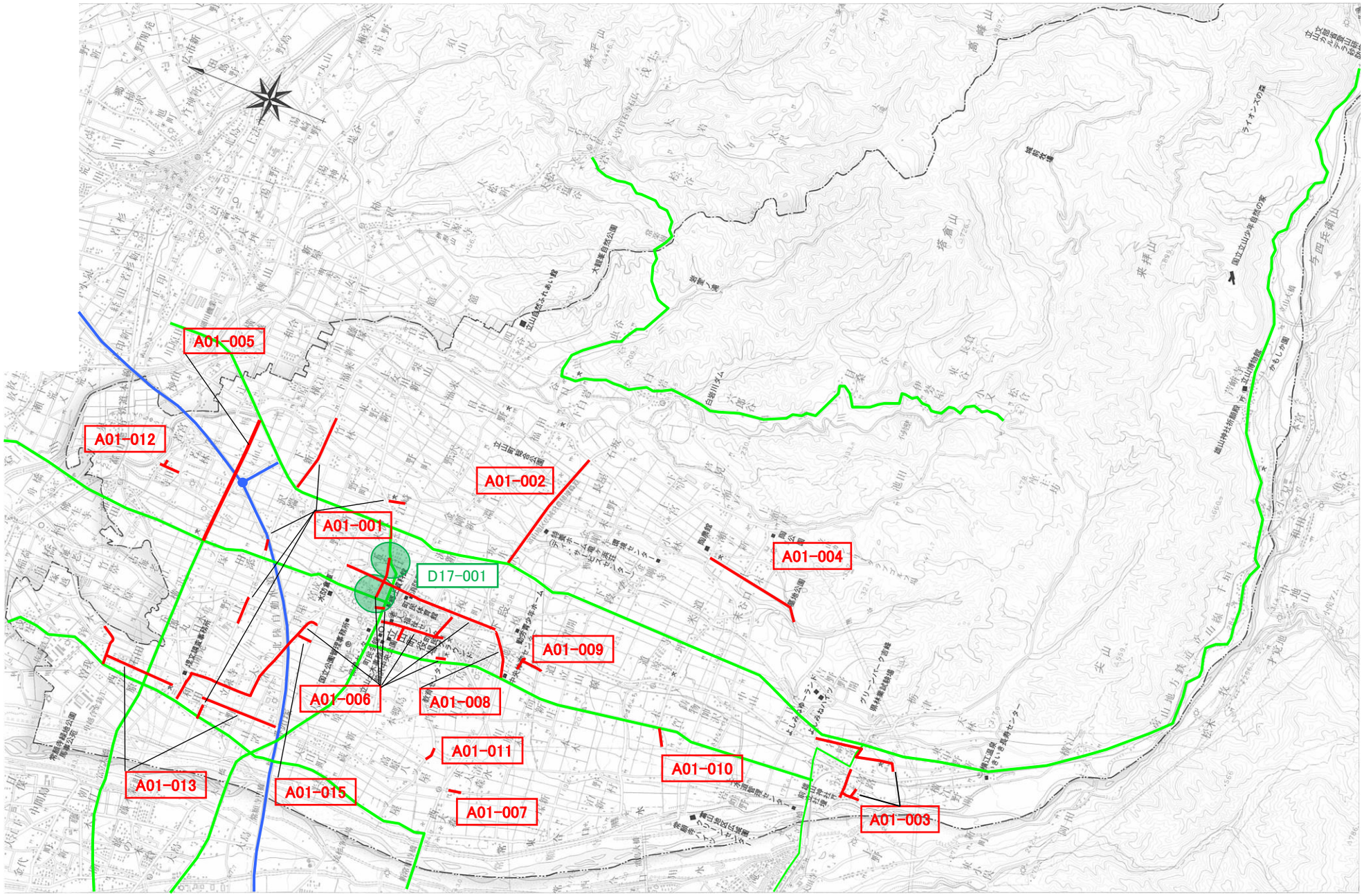
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
円滑化地籍整備事業	D17-001	地籍整備	一般	富山県	間接	立山町	－	－	立山町　社会資本整備円滑化地籍整備事業	面積　0.39km2	立山町	■	■	■			33		－
		道路事業（A01-006）に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。																	
											小計						33		
											合計						33		

案件番号： 0000348229

（参考図面）

計画の名称	47　立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付団体	立山町



A01 通学路整備　　D17-001 地籍調査

交付金の執行状況

（単位：千円）

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額（a）	77,550	146,961	172,111	179,665	140,304
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	0
交付額（c=a+b）	77,550	146,961	172,111	179,665	140,304
前年度からの繰越額（d）	60,060	38,760	57,793	66,326	73,896
支払済額（e）	98,850	127,928	163,578	172,095	154,097
翌年度繰越額（f）	38,760	57,793	66,326	73,896	60,103
うち未契約繰越額（g）	18,717	54,326	51,402	64,344	12,270
不用額（h=c+d-e-f）	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i=(g+h)/(c+d)）%	14%	29%	22%	26%	6%
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	設計協議の調整が難航したため	設計協議の調整が難航したため	設計協議の調整が難航したため	設計協議の調整が難航したため	

社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和06年03月05日

計画の名称	立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）														
計画の期間	平成３０年度　～　令和０４年度　(5年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	立山町,富山県														
計画の目標	通学路を中心に、主に歩行者や自転車の安全性の向上に繋がる道路整備をすることで、安全で安心なくらしを支えるまちを形成する。 継続的に通学路の安全を確保するため、立山町通学路交通安全プログラムに基づき安全対策の改善・充実を行う。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	932	A	900	B	0	C	0	D	32	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		0	2	3
1	・交通事故発生件数を、平成30年度から平成34年度までに約3%減少する。			
	各年の立山町の交通事故発生件数から減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（H30交通事故発生件数ー評価時点の交通事故発生件数）／（H30交通事故発生件数）	0%	1%	3%
2	・通学路における合同点検の要対策箇所（交通安全プログラム）の対策率を約30%（H30）から100%へ増加（上昇）させる。			
	各年の立山町の要対策箇所対策数から対策率を算出する。 （要対策箇所対策率）＝（評価時点の対策済み箇所数）／（H30要対策箇所数）	20%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	ー	国土強靱化を含む	ー	定住自立圏を含む	ー	連携中枢都市圏を含む	ー	流域水循環計画を含む	ー	地域再生計画を含む	ー	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000552705

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）日中田添線外　沢端外	路側帯カラー舗装・歩道整備 2.36km	立山町	■	■	■	■	■	294		―
	A01-002	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）坂井沢白岩線　坂井沢・上中・石坂	歩道整備　1.73km	立山町	■	■	■	■	■	56		―
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）岩峅寺宮路線外　宮路外	路肩拡幅　0.36km	立山町	■	■	■	■	■	25		―
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）新瀬戸下田線　上末外	路肩拡幅　0.27km	立山町	■	■	■	■		27		―
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（1）二ツ塚辻線　若宮・辻	側溝改修　1.70km	立山町	■	■	■	■	■	15		―
	A01-006	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（2）上前沢線外　前沢外	路側帯カラー舗装・側溝改修 7.66km	立山町	■	■	■	■	■	123		―

案件番号：　0000552705

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）泊東大森線　東大森	側溝改修　0.13km	立山町	■	■	■	■	■	19		－
	A01-008	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）坂井沢大清水線　榎	路肩拡幅　0.20km	立山町	■	■	■	■	■	15		－
	A01-009	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）大清水榎線外　向新庄外	路肩拡幅　0.34km	立山町	■	■	■	■	■	62		－
	A01-010	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）末三賀道源寺線　末三賀	路肩拡幅　0.18km	立山町	■	■	■	■		47		－
	A01-011	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）大清水高原八ツ屋線　大清水外	路肩拡幅　0.18km	立山町	■	■	■	■	■	65		－
	A01-012	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）泉沢端線外　寺田	路肩拡幅　0.16km	立山町	■	■	■	■	■	54		－

案件番号：　0000552705

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-013	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）鉾ノ木支線外	路側帯カラー舗装・路肩拡幅 2.5km	立山町	■	■				45		―
	A01-014	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（１）菰原半屋線外　前沢外	安全対策　1.1km	立山町		■				44		―
	A01-015	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村道	交安	（他）前沢榎線　大窪外	道路拡幅・側溝改修　0.32km	立山町				■	■	9		―
											小計						900		
											合計						900		

案件番号：　0000552705

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
円滑化地籍整備事業	D17-001	地籍整備	一般	富山県	間接	立山町	－	－	立山町　社会資本整備円滑化地籍整備事業	面積　0.39km2	立山町	■	■				32		－
		道路事業（A01-006）に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。																	
											小計						32		
											合計						32		

案件番号：　0000552705

事　後　評　価			
○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
立山町建設課		令和6年3月	
		公表の方法	
		立山町ホームページ	
○事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	対策率については目標達成できなかったが、事故発生件数は大幅に減少したため、通学路の安全対策には大きな効果を発揮できたものと考えられる。		
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）			
○特記事項（今後の方針等）			

案件番号： 0000552705

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	立山町内の事故発生件数の減少率		
	最　終 目標値	3%	他事業と連携することにより、より効果的な対策を実施できたため。
	最　終 実績値	46%	
2	H30通学路要対策箇所の対策完了率		
	最　終 目標値	100%	用地買収の難航や予算状況により進捗に遅れが生じた。
	最　終 実績値	75%	